

吉川市のPRについて

稲葉 剛治



問 吉川に長年住んでいる方、引っ越してきた方、どちらも自分の住んでいる地域、活動範囲外についてはあまりよく知らないという声を多くいただいている。この街に暮らす方々が自分の生活圏、よく知るエリア以外の吉川を知っていただくことでよりこの街を好きになり、その思いはこの吉川をさらに魅力的な街に押し上げる原動力になると考える。吉川市の特色や特徴ある地域以外のもの、例えば市内の街並みや、日常の風景を市民の方々に知ってもらえるようなPRを行ってほしいと考えるが見解を伺う。

答 市役所や市民、団体や企業などと連携し、街の魅力を再確認し、発掘しながら、まずは市内への情報発信を重視し、その上で市外への戦略的な取り組みが必要。映画やテレビドラマ、CMなどに活用できる市内候補地を市民の皆様から募集、3D 動画による市内景観や施設などの紹介PRに着手している。今後も協働による視点も加えながら、市の魅力を市内外へ発信していきたい。

自主財源確保について

大泉 日出男



問 直近の市政への市民の声を確認すると、比較的共通していることは、公園の環境不備や運営に関する不満が多い。整備が必要な箇所は何か所か。作業工程の見通しは。

答 約50カ所、見通しを示すのは難しい。

問 パークPFI（公募設置管理制度）の検討と民間資金の活用について、導入の課題や効果は。

答 管理者の負担を軽減できる効果がある一方、場所が狭くなる、民間事業者が持続可能かどうかの判断が課題である。

◆ネーミングライツ(命名権)の導入について

問 近年では地域民間企業との連携による財源確保が注目されており、その対価を得て施設維持管理やサービス向上を図っている。当市でも何回か会議を実施しているが、方向性や見込み、課題は何か。

答 第5次行財政改革プランにて協議しているが、課題としては民間企業が魅力を感じていないことがある。地域との愛着等の課題を丁寧に整理しながら検討をしたい。

小学生の通学路変更手続き

菊名 克典



問 教育委員会が把握している通学路の変更希望7件の詳細は。また、保護者からの要望で実際に変更に至ったことはあるのか。

答 通学路については、近隣住民からの指摘を受けて変更した1件と、少し遠回りなので別のルートにしてほしいという保護者の要望で変更したものが1件ある。なお、危険なため変更してほしいという5件は変更されなかった。

通学路は余程のことがない限り変更することはないが、交通量の変化等で別のルートの方が安全を確保できる場合は、変更することも十分あり得る。

◆部活動の地域移行について

問 地域移行をした際に全ての部活を残す方向で検討しているのか。

答 指導者の確保が難しくなってくると考えられるので、確保状況によっては全ての部活を存続させていくことは難しいのではないかと考える。

美術作品の寄附・寄贈・公開についてどう考えるか

成本 直寛



問 文化芸術の振興に伴い、美術作品（絵画・書・彫刻・工芸品等）の寄附・寄贈が増える可能性があるが、当市における寄附・寄贈に関する規程や要綱はあるか。また、現在、市に寄附・寄贈された作品の点数、展示場所、保存場所について伺う。

答 当市においては寄附・寄贈に関する規程はない。受け入れに当たっては、作品の大きさ・種類・展示場所・市に縁があるか等を総合的に勘案して判断している。これまでに69点の作品を寄贈いただき、51点を市内公共施設で展示、18点を施設倉庫等で保管している。

問 盛岡市では市のホームページにインターネット美術館を設置し、市が所蔵している美術作品をネット上で展示・公開している。当市ではこのような取り組みの計画はあるか。

答 インターネットを活用すれば、いつでも、だれでも作品を鑑賞できる状況になり、大変有効であると思っている。他市の例を参考に今後研究していく。文化芸術に触れる機会を増やしていき、魅力ある鑑賞機会の充実に努めていく。